

# 私保連 とくしま



発行：徳島県私立保育園連盟  
 発行人：会長 亘 安美  
 〒770-0943  
 徳島市中昭和町1丁目2番地  
 徳島県立総合福祉センター内  
 tel.088-654-4461 fax.654-9250  
 印刷：教育出版センター

わんぱくひこ星集合  
 3歳・4歳児

(十六面に続く。正興寺保育園)



## もくじ

県子ども未来課 課長就任挨拶 ..... P2  
 事務局挨拶 ..... P2  
 県私保連 会長挨拶 ..... P3  
 平成25年度定期総会並びに  
 民間保育園(所)長一泊研修会 報告 ..... P3  
 部会報告 ..... P5  
 青年会議 活動報告 ..... P8  
 ブロックだより ..... P8  
 新園(所)長紹介 ..... P9  
 全国私立保育園研究大会 宮崎大会 ..... P10  
 活躍！主任保育士さん ..... P11  
 笑顔はじける『おぎゃっと21』 ..... P13  
 子育てで真っ最中！ママ職員 ..... P14  
 「いただきます」を支えて ..... P15  
 男性保育士！じゅづつなぎ ..... P15  
 七夕まつりを終えて ..... P16



ねがいごとなうかな？ 3歳児

就任挨拶



徳島県保健福祉部福祉こども局こども未来課

課長 山口 憲明

本年四月に、こども未来課長を拝命しました山口と申します。私立保育園連盟の皆様方には、日頃より、本県の児童福祉行政、とりわけ保育行政の推進に多大な御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、急速な「少子化」の進行、「共働き世帯」や「ひとり親家庭」の増加、労働形態の変化など、子どもや子育てを取り巻く環境が大きく変化する中、すべての人が家庭や子育てに夢を持ち、喜びとゆとりを持って、子どもを育てることができ、環境を整えるため、保育サービスをはじめ、「子ども・子育て支援の充実」が喫緊の課題となっております。

行に向け、本年四月に内閣府に設置された「子ども・子育て会議」において、基本指針、保育の必要性の認定基準など、様々な検討が進められております。

県におきましても、「子ども・子育て関連三法」の成立後、全国に先駆けて、少子化対策推進の基本指針となる「徳島県子どもはぐくみ条例」を制定したところであり、本条例に基づき、義務教育及びその後の教育の基礎を培う良質かつ適切な教育及び保育が行われるよう、私立保育園の皆様方とともに必要な取組みを積極的に推進してまいります。

事務局挨拶



徳島県社会福祉協議会福祉人材センター

所長 矢野 隆史

この四月より事務局を担当させていただく矢野と申します。よろしくお願いいたします。

これまでは、徳島県庁で主に市町村行政や農林水産関係の業務に従事してきましたが、福祉関係はこの度が初めてとなります。このため、制度や用語(特に略語)についての知識が皆無ですから、この三ヶ月は日々勉強(冷汗)のうちに過ぎました。

保育所についてのこれまで関わりといえば、企画調整部で地方分権の推進についての事務をとっていた折り、幼保一元化について勉強したことがあります。その際、県教育委員会の幼稚園担当の先生から「幼稚園は教育機関であり、午前中は教育、午後は翌日の教材準備をする必要があります。保育を行うことはできません。」と数時間にわたって

論されたのが、とても印象に残っています。

それから二十年近く、今では新たな保育ニーズに対応するための認定こども園の制度が実施され、既に全国で千件以上が認可されていますが、これからも徐々に増えていくと思われれます。

ただ、本県の動向を見ますと、少子化が急激に進む地域において、公立の幼稚園と保育所の施設統合を目的としたもので、都市部における認定こども園の普及については、今後の制度設計の如何にかかってまいりますので、国への要望活動等をより活発化する必要があります。

フレール館



徳島支店  
〒770-8007 徳島市新浜本町2-3-50  
坂東新浜ビル3号室  
TEL 088-663-6338 FAX 088-663-3396  
携帯 090-4338-9940

すべては、子どもたちのために。

株式会社ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp  
TEL 088-626-2110  
FAX 088-626-2416

「会長として思うこと」



徳島県私立保育園連盟

会長 亘 安美

このたび、徳島県私立保育園連盟会長という大役を仰せつかり、正直、戸惑っている私ですが、今まで私たちを導いて下さった諸先輩の意志を受け継ぎ、どうすれば子どもたちが、幸せになれるのかを模索しながらも理事会が一致結束して、この今の現状を乗り切っていきたいと強く思っています。

思えば私が保育士になって間もない頃、東京都で行われた全国私立保育園研究大会での折、その時の分科会で保育士の処遇面での発表を任せられた時、当時の私立保育園連盟の木村会長がご夫妻で応援に来て下さり、とても心強く感じ、深い心遣いに感謝した事を思い出します。そして、そのような細やかな心遣いが出る園長になりたいと常々思っていました。

今、保育現場は、二十三年の「子ども・子育て新システム」の閣議決定を受け、二十四年度「子ども・子育て関連三法」が八月に成立し、「子ども・子育て会議」が四月より発足し、保育三団体より代表者が参画し、検討中です。

また、都会での待機児ゼロ問題が取りざたされている反面、地方では保育士不足、幼稚園資格の取得等問題が山積みです。二年後に「認定子ども園」に移行するのが妥当なのかその判断が求められますが、しっかりと現場での子どもの姿を見据えて、保育の実施主体である市町村にも積極的に働きかけていくことが大切であると思っています。どうか、皆様のご協力とご支援をお願いして、簡単ですが挨拶にかえさせていただきます。

平成二十五年定期総会並びに民間保育園(所)長一泊研修会 報告

井上 宣英

平成二十五年五月十三日、十四日鳴門市の「ルネッサンスリゾートナルト」において、徳島県私立保育園連盟の定期総会並びに園(所)長一泊研修会が開催されました。

定刻に至り事務局の説明と資料確認が行われ、上野由弘会長による開会挨拶により開幕しました。

最初に保育功労者表彰が行われ、長年の保育に対するご尽力を賞し、出席した被表彰者一人ひとりに会長から賞状が授与されました。

また、徳島県保健福祉部福祉こども局こども未来課、山口憲明課長よりご挨拶及び被表彰者へのご祝辞をいただきました。

引き続き、議長に大和忠広



祝辞



総会議事

副会長が選出され総会議事に入りました。平成二十四年度事業報告、収支決算が事務局から報告され、吉谷昭生監事による監査報告の後、審議を諮ったところ、疑義なく承認されました。

次に平成二十五年定期新規認可保育園となられた、北島町のすみれキッズ保育園の入会が承認されました。

子どもにやさしい地球を残そう

ひかりのくに徳島有限会社

〒779-3404 徳島県吉野川市山川町川田869-4  
TEL 0883(42)2220  
FAX 0883(42)6300  
〒770-0035 徳島市南佐古5番町2-37  
TEL 088(652)0350  
FAX 088(655)9066



幼児の豊かな生活環境をめざす  
徳島チャイルド社

電話 088-674-6050  
FAX 088-674-8336  
〒779-3234 名西郡石井町石井字白鳥230



事務局説明

また、次の議案として、任期満了に伴う役員の変更が協議され、理事会における選出案等が事務局より報告され、総会において承認されました。(新役員は別表の通り)

次に平成二十五年度以降の事務局体制について協議され承認、それに伴う徳島県私立保育園連盟会費徴収規定の改正についても承認されました。

最後に平成二十五年度事業



保育功労者表彰

徳島県私立保育園連盟 役員名簿

任期 H25.4.1~H27.3.31

役職	氏名	保育園(所)名	所属ブロック
会長	亘 安美	明神善隣館保育所	鳴門市
副会長	大和 忠広	花しんばり保育園	南部
	長澤 紀子	さくら保育園	徳島市
理事	上野 由弘	助任保育園	徳島市
	前川 雅一	南佐古保育園	徳島市
	塚原 恭子	矢倉乳児保育園	鳴門市
	田崎 幸	子安保育所	南部
	加藤 仁	みのり乳児園	中西部
監事	寺西 陽子	藍住ひまわり保育園	中西部
	吉谷 昭生	みのり保育園	徳島市
	清水 悦子	板東みやま保育園	鳴門市



行政説明

計画及び収入支出予算の説明があり、原案通り承認され、以上をもって総会は終了いたしました。

行政説明として、県こども



情報交換会

福祉部こども未来課の松本光裕課長補佐からお話をいただきました。

休憩をはさみ四部会で各分科会を設営し、新年度の部会

平成25年度被表彰者名簿

	氏名	保育所(園)名	職名
1	宮 本 晶 子	くるみ保育園	主任保育士
2	池 本 夫美子	光花保育園	主任保育士
3	瀬 川 美佐子	みのり保育園	保育士
4	高 原 由 紀	みのり保育園	保育士
5	三 田 妙 子	助任保育園	保育士
6	岩 見 昭 子	青葉保育園	保育士
7	青 野 明日香	みずほ保育園	栄養士
8	黒 本 由利子	いずみ保育園	保育士
9	松 原 郁 子	つくし保育所	保育士
10	湊 先 朋 子	つくし保育所	保育士
11	播 磨 美 香	うずしお保育園	保育士
12	酒 巻 香	うずしお保育園	保育士
13	南 惠 子	うずしお保育園	看護師
14	岡 部 友美子	うずしお保育園	保育士
15	大 和 利 絵	うずしお保育園	保育士
16	林 加 代	うずしお保育園	保育士
17	築 添 利津子	うずしお保育園	保育士
18	大 西 洋 一	うずしお保育園	保育士
19	吉 田 倫 子	うずしお保育園	保育士
20	藤 本 佳 子	うずしお保育園	保育士
21	栗 島 由 美	うずしお保育園	保育士



基調講演

情報交換会では鳴門市ブロックの先生方、また善隣館保育所の先生にも出演いただき、楽しい歌や踊り、ゲームなどで交流を深め有意義な会合이었습니다。

構成員、役割等を確認し、今年度の活動計画について話し合いました。

情報交換会では鳴門市ブロックの先生方、また善隣館保育所の先生にも出演いただき、楽しい歌や踊り、ゲームなどで交流を深め有意義な会

二日目は、午前九時より総務・調査・保育研修・広報の各部会の審議結果について、各部長から今年度の活動計画が報告され、情報の共有化が図られました。

十時からは、全国私立保育園連盟、常務理事 塚本秀一様より「保育を取り巻く動向と情勢について」という演題で講演をいただきました。政

権交代によって自公政権が復活したことによる子ども・子育て支援新制度について、人口減少社会の保育について等を話していただきました。

最後に大和副会長より閉会の言葉があり二日間に及ぶ日程を締めくくりました。  
 運営監事として会の円滑な進行のため臨機応変に対応された鳴門市ブロックの先生方お世話をいただき本当にありがとうございました。  
 (桑島保育所)



平成25年度 徳島県私立保育園連盟部会 組織構成表

総務部				
部長	松下 直弘(のぞみ)	朝井 清太(めだか)	宮北久美子(里浦ちどり)	大和 友就(勝浦みかん)
副部長	大泉真二郎(大泉)	桜木 孝子(大原)	大石 彰(すみれ)	加藤 仁(みのり乳児)
会計	三橋 明美(あいずみ)	増田 暁(岡崎)	大和 忠広(花しんばり)	
	若松 定義(若松)	塚原恵美子(矢倉)	森岡 稔人(お山)	

調査部				
部長	野田 敬博(わかば)	篠宮 恵子(青嵐)	波里 史子(いずみ)	佐々木和己(みのだ)
副部長	新見公美子(川内南アコール)	長谷部やよい(育英)	牧野 展子(板東ゆたか)	山田さちよ(めばえ)
〃	横手 桂子(阿南ひまわり)	鎌田 健(春日)	葉田美知子(すくすく)	河野 玲子(きらら)
会計	青木 貴子(阿波国慈恵院)	多田 耕造(梅の花)	清水 悦子(板東みやま)	寺西 陽子(藍住ひまわり)
	青木 史朗(青葉)	阿部 好宣(ひまわり)	木内ちずる(木津さくらんぼ)	山中 容子(松茂ひまわり)
	前川 雅一(南佐古)	篠原ハルミ(あゆみ)	横手 桂子(那賀川ひまわり)	
	長澤 紀子(さくら)	谷口 泉(おおぎ)	木村かおる(こまつま健祥会)	
	浦上 公子(島田)	田中 育美(徳島健祥会)	板東 豊昭(みどり)	

保育研修部				
部長	佐藤 良典(みどり)	野田 晃弘(川内わかば)	中川 恵美(恵の園)	寺尾弘恵(勝浦こすもす)
副部長	太田 信子(四国大学附属)	林 弘子(沖浜シーズ)	西岡 計子(あざみ)	谷 弘子(阿南)
	鈴江貴美子(城南)	亘 安美(明神善隣館)	佐野 篤子(あけぼの)	黒田 信雄(光の子)
	筒井 桂香(もとしろ)	吉田美知代(正興寺)	三宅 勝子(ひかり)	尾嶋 英子(鴨島中央)
	盛 セイ子(くるみ)	豊田 栄子(長寿寺)	大和 祐子(かもめ)	

広報部				
部長	谷口 恵美(彩)	上野 由弘(助任)	森崎美代子(四国大学附属西富田)	細江久美子(鴨島ひかり)
副部長	大石 智弘(すみれキッズ)	上野 弘恵(なかよし)	前川 隆一(つくし)	岡島千代美(かめの子)
〃	中川 千昌(すぎの子)	佐藤 義忠(光花)	井上 宣英(桑島)	真島久美子(しらゆり)
会計	田崎 幸(子安)	吉谷 昭生(みのり)	塚原 恭子(矢倉乳児)	清重 弘子(さくら)
	山内 雅代(前川乳児)	太尾 妙子(四国大学附属乳児)	三石昇太郎(うずしお)	増田 睦子(松茂ひまわり)
	吉田 孜代(みずほ)	浦橋喜代子(出来島)	岸 智彦(二葉)	清重 佳久(いしいキッズ)

部会報告  
 総務部  
 松下 直弘

総務部は今年度一名部員が増え、十四名となりました。ここ何年間毎年部員が増えていきますことを嬉しく思っています。と同時に、皆様と一緒に前向きにいろいろのことに取り組んでいきたいと考えています。総務部の夢は「昼の部屋じゃなく椅子に座ることのできる部を」「いつかは県外へ：」などと話し合っています。いつもながら各部の報告を見ておきますと、県外視察や研修などが多数書かれております。総務部はそんな輝かしい部と違い、陰・地道・ひたすら・変わることなく・人が見ている・後ろ指を刺されない・正直・まっすぐ・他者への思いやりなどを基本コンセプトに活動しています。「人の喜びをみんなの喜びへ」「会員一人ひとりの団体」となるために様々な視点から、さらには新制度を見据えた団体作りなども話し合っています。

います。皆様もフツとお疲れになったときもくせいの香りに漂う方向を見てください。いつの世も人の在り方を見続ける総務部があなたをやさしく見つめていますよ。ジェジェ！  
（のぞみ保育園）

**調 査 部**

山田さちよ

平成二十五年度第二回調査部会は、四月に改築された、鳴門市「ゆたか保育園」にて開催いたしました。

新しい園舎は、保護者用の玄関、職員や他の大人用の玄



関に分けられ、木のぬくもりやゆつたりとした細かな配慮があちこちにありました。二階の保育室からは、緑の風景が鮮やかに望まれ、清々しい初夏の風が園全体に漂い心地よい空間でした。

また、園舎アプローチには実のなる木やハーブやローズマリーの香草、季節の花々が植えられ、ツバメが巣を作り雛がチイチイとさえずる声も聞こえ大人も子どもも心豊かに生活する姿を思い浮かべました。

部会では、昨年鳴門市・阿南市に国の会計検査が入り延長保育事業の指導がありました。そこで「延長保育事業の



積算根拠書類への記入について」と題しての勉強や「在職証明書」の取扱について見直し等をいたしました。

また、昨今は保育士志望者が減少する中徳島県外に就職を求める学生も増えております。県内で保育士として働き、何に生き甲斐を感じ、何を求めているのかを知るための「現場保育士の意識調査」



を実施するための討議を行い部会を終えました。  
（めばえ保育園）

**保 育 研 修 部**

佐藤 良典

第一回保育研修部会を五月十三日、平成二十五年度徳島県私立保育園連盟定期総会開催後に持つことができました。

第一回の議事として平成二十四年度決算・事業報告について協議がなされ、三役が、南部ブロック佐野部長（あけぼの保育園）・谷副部長（阿南保育園）・中川会計担当（恵の園保育園）から、徳島プロッ

ク佐藤部長（みどり保育園）・太田副部長（四国大学附属保育所）・筒井会計担当（もとしろ保育園）にバトンタッチされスタートしました。部会員数としては、一名の入部一名の退部があり、前年度と同数の十九名となっています。

平成二十五年度予算・事業計画の協議の中で、一昨年より保育研修部内で行っている新任保育士研修会（部会内の各園長が講師となり、保育士として必要な要素、大切にしたい欲しい事などを自らの経験に照らし合わせて講演・指導するというもの）を、「そろそろ県私保連全体に広げていっては」という提案がなされたが、会場・人数・予算などの具体的なことまでには及ばなかった。

それに次いで、ここ数年来行っている、鯨岡先生の講義をより具体的なものとするための研修の持ち方について、他の講師による別の角度からの保育の見方を考えてみようとの議論が起こった。他の部会でも様々な研修が持たれているなか、県私保連での保育研修部のあり方を考えさせられた。

第二回の保育研修部会は、六月二十四日(月)に新しく入部された野田晃弘園長の川内わかば保育園にて持たれました。午前中、施設を見学し保育活動を見せて頂き、午後から野田園長のお話をお聞きしました。長年、小学校の教員をなさっておられたとのことで、小学校教育と就学前教育の在り方、認定こども園制度を見据えての問題点、幼稚園と保育所の成り立ちの違いからくる保育の捉え方の違い等、多岐にわたっての議論がなされ大いに盛り上がりました。(みどり保育園)

**広 報 部**

谷口 恵美

県私保連総会【二〇一三年五月十三日(月)】部会別協議会にて、第一回部会が行われました。今年度の広報部は、松茂ひまわり保育園 山中容子園長先生が、広報部から調査部に移動され、新たに、平成二十五年四月に新設された、すみれキッズの大石智弘園長先生を部員として迎え、二十三名の部員でのスタートとな



施設見学「すみれキッズ」

りました。

前年度事業・会計報告の後、役員改選を行い、平成二十五年度の役員として副部長すぎの子保育園の中川千昌園長先生、同じく副部長に、すみれキッズの大石智弘園長先生、また、会計には、子安保育所の田崎幸園長先生が選任されました。部長は私、彩保育園の谷口恵美が拝命いたしました。新しい広報部執行委員が挨拶をして、その後、研修会や、広報誌、カレンダーの作成、昨年度より、県私保連ホームページの見直しを行っ

ており、引き続きホームページの充実を図って行くことを話合いました。そして、施設見学では、北島町に新設された、『すみれキッズ』を見学させていただくことなど、今年度の事業計画について話合いました。

第二回部会【二〇一三年六月七日(金)】では、前回の部会で決定していた『すみれキッズ』を訪問し、施設見学をさせていただき、大石園長より、園の概要についてお話ししていただきました。真新しい園舎は二階建てで、施設設

備に細やかな配慮と工夫がなされていました。『すみれキッズ』は、総合幼児教育研究会に加盟しており、知的創造を育む保育を実践されるなど、特色のある保育を行うにあたり、職員研修を行ったり専門性を深める研修会に参加したりするなど、職員の資質の向上にも力を注がれていました。また、部会においては、事業計画を具体化していきました。研修会について

は、前回の部会で出ていた「健康セミナー」、「コーチング」、「保護者支援のあり方」など、講師の先生を考えていくことになりました。その後、松茂ひまわり保育園の増田睦子園長先生と四国大学附属西富田保育所の奥尾祐子園長先生がご勇退されるにあたり、今後の活躍と新たな門出をお祝いさせていただきました。また、県私保連カレンダー作りにおいては、昨年と同様、行政へのPRや養成学校へ持参していただく為に十一月初旬の発行としたいと思いま

す。会員の皆様にも広くご活用いただきたいと思えます。ホームページの検討会【二〇一三年六月十三日(木)】にて、県私保連ホームページの充実を図り、より多くの方に活用していただけるように、ホームページの内容の検討を行いました。次回八月に最終見直しを行い、ホームページをリニューアルする予定ですが。会員各位様、是非ご覧いただきまして、ご意見等ございましたら、広報部までお寄せください。また、ホームページのみならず、広報活動に対するご意見、ご要望等ございましたら広報部までお寄せくださいますようお願いいたします。(彩保育園)



ホームページ検討会

### 私立保育園連盟 青年会議

県私立保育園連盟青年会議  
会長 阿部 浩紀

県私保連青年会議は、鳴門市の板東みやま保育園の清水陽子氏と北島町のすみれキッズ保育園の大石智弘氏の2名を加え、総勢16名でスタートしました。今年度の役員は、改選年度では無いので昨年度と同じく、

- 会 長 阿部 浩紀 (藍住ひまわり保育園)
- 副 会 長 石川 栄司 (めだか保育園)
- 副 会 長 大和 友就 (勝浦みかん保育園)
- 会 計 葉田 貴明 (きらら保育園)
- 書 記 盛 利彦 (くるみ保育園)
- 幹 事 牧野 史子 (板東ゆたか保育園)
- 幹 事 山崎あゆ利 (川内南アコール保育園)

のメンバーで運営していきますのでよろしくお願ひします。

さて、青年会議では平成25年4月12日に徳島県こども未来課課長補佐松本氏他2名をお招きし、行政説明をして頂いた後、総会を行いました。

総会では、平成24年度事業報告、収支決算、監査報告がなされ、問題なく了承されました。総会で審議された今年度の事業計画は、次の通りです。

- ・講演会 (社会福祉法人子どもの家福祉会理事長赤西雅之氏、9月28日)
- ・就職説明会 (於四国大学、時期未定)
- ・労務関係勉強会 (時期未定)

また、全私保連青年会議の活動では、現執行部が地方で幹事会を開催したいとの要望があり、8月28日、29日に第2回幹事会及び研修会を徳島県で開催することになりました。全国の支部代表と交流する絶好の機会でありますので、徳島県の会員一同積極的に参加し、交流を深めたいと考えております。

だより  
ブログ

### 中西部ブロック

寺西 陽子



徳島県の中央部と西部に位置する「中西部ブロック」の私立保育園連盟加入園数は、平成二十四年度に「あいずみ保育園」と「藍住ひまわり保育園」が入会、そして今年度には北島町の「すみれキッズ」が新規に入会されて、十八園となりました。

西は、三好市池田町(二園)、三好郡東みよし町(二園)、そして中央の吉野川市鴨島町(二園)、名西郡石井町(三園)、板野郡松茂町(二園)、北島町(五園)、藍住町(二園)と広域に各保育園が点在し、各市町村行政七管轄というところが特徴的なブロックです。こうした状況を踏まえ、新たな会員を交えて、第一回園長会が七月二日に開催されたところ、親睦も兼ねた和やかな雰囲気のもと「中西部ブロック」の活性化を図る前向きな意見が、次々と交わされました。従来園長会は、広域のため集まり難いことから年に一、二回程の開催であり、ブロック内での情報交換や園交流が非常に少な

かったことや、理事会の報告においても、紙面での伝達だけでは不十分な点もあつた等の反省点も出され、今後の園長会のあり方について検討いたしました。そこで、今年度の試みとして園長会の回数を増やし、理事会の報告はできるだけ園長会で詳しく伝達ができるように、また情報交換や研修なども取り入れる等の意見も出されました。今回は、理事会の報告と共に、各市町村の地方版子ども子育て会議の設置状況や、保育勢の話し等を交えた情報の共有化に努めました。

時代の流れで制度がどう変わろうとも、私たちは「保育の質の向上」を目指し「利用者から選ばれるため」に、「子どもの最善の利益」を第一に、行政や職員とともに地域の実情にあった保育施策を提案していきたいと「中西部ブロック」園長会の絆を強くいたしました。(藍住ひまわり保育園)





新園(所)長紹介(園長名五十音順)

※すみれキッズ

保育園



大石 智弘  
北島町に新しく開園致しました、すみれキッズ園長の石智弘です。

鳴門市にあるすみれ保育園の姉妹園として私保連に加入させて頂き、皆様に御指導賜りながら、未来ある子ども達の成長の一助となるよう、日々努力して参りたいと思っています。

「すみれ」の花は、小さくて可憐ではありますが、岩やコンクリートの間からも、芽吹いて花を咲かせる、力強い花でもあり、私は、この「下根性すみれ」の精神を少しでも、子ども達に受け継いでもらえような、保育を目標に保育士の先生方と共に、精魂傾けて参ります。保護者のニーズも、多種多様となる中ではありますが、子ども達にとつての最良を優先し、また、試行錯誤する折には、先輩園の皆様の経験やお知恵をお借りしたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

※川内わかば保育園

野田 晃弘



市橋將邦園長と共に歩んできた本園は、今年十周年を迎えます。

また本園とわかば保育園の前身である野田家庭保育所が創設され、本年は五十周年の佳節に当たります。この大きな節目に巡り合わせた喜びと感謝をもち、後任園長として頑張つて参ります。

映画「20世紀少年」や「ALWAYS 三丁目の夕日」で描かれる社会全体が活気を呈した昭和三十年代。空襲の被害を免れた田園風景に佇む旧家では、多くの子ども達の元氣な声が響いていました。家の一階で、祖母が夫と共に姉妹や娘達を集めて賑やかな家庭よろしく一家をあげて保育を行い、二階部分はその大家族の住居という、笑顔の絶えない家庭保育所でした。この時期に大阪で生まれた私は、毎年のように長い夏を実家で過ごす「保育所の子」でした。そして万博の翌年、家族で徳島に戻り家の二階部分で住むこととなりました。父母も保育園の運営に携わりやがて社会福祉法人となり、家族経営の趣はなくなりまし

た。が、階下に子ども達の声を聞くうち、いつしか私は教職を志すようになりました。時が流れ、昨春、二十数年間の思い出と共に小学校を後にし、本園勤務を始めました。笑顔の子ども達に接し、私は何とも言えない居心地のよさを覚えました。周囲を癒やすような雰囲気は家庭保育所時代を彷彿とさせ、何か懐かしい感覚が蘇つてきたのです。今、子どもの自尊感情の低さが懸念されています。自尊感情の基盤となる自己受容感や自己肯定感は、安心できる環境のもと、周囲と多くの関わりを共有する中で育まれていきます。本園は、これから家庭的な居場所であること大切に、子ども達の豊かな育ちを目指して参ります。未熟で至らぬ身ではありますが、未来への展望を持ち、職責を果たしたいと念じる所です。ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

※松茂ひまわり保育園

山中 容子



この度平成二十五年一度より松茂保育園の園長となりまして、身

た山中容子と申します。



余の重責ではございますが、大変有難く、また、やりがいも感じております。

近年、少子高齢化の急速な進展とともに、子ども、子育てにかかるとともに、政策的課題が社会的にも注目されています。保育園にとつては、大変厳しい時代ですが、日本の将来を担う子どもたちが、豊かな心をもって、生活できるように、私たち保育園、保育士が子どもの最善の利益とは何か。地域のすべての子どもたちの発達保障とは何か。保育とはい

どもたちは、興味や関心を持ち、ぐやってみたい、さわりたい”などの実体験を大切にしたい”などの好奇心を育て、生きる力を培います。数十本の木々と築山、丸太のすべり台など、チャレンジする中で、たくましく、豊かな心、感性を育てたいと保育に取り組んでいます。

※四国大学附属西富田保育園

森崎美代子



四国大学附属西富田保育園は、平成二十三年四月に民間移管され

て、今年で三年目となりま  
す。私は、西富田乳児保育所  
(現四国大学附属乳児保育  
所)で長年、管理栄養士とし  
て勤務していましたが、移管  
に伴い副所長として異動して  
まいりました。そして、今年  
の四月奥尾前所長の退職によ  
り、その後を引き継ぐことと  
なりました。

移管後の二年間は思ったよ  
りたいへんな毎日でした。奥  
尾前所長の元、職員一丸とな  
り保護者の要望の高かった延  
長保育の時間延長や、土曜保  
育の開始をしました。平成二  
十四年三月には保育室を増床  
し、定員十二名で一時保育を  
スタートしたり、二十四年度  
よりわんぱく教室を開始して  
地域の子育て家庭への支援を  
実施しました。そして少しづ  
つですが、保護者の皆様や地  
域の皆様にもご理解、ご協力  
を頂けるようになってまいり  
ました。

私自身、管理栄養士として  
の経験は長いのですが保育の  
経験はなく、私のような者に  
所長ができるのだろうかと思  
不安いっぱいでした。今では  
毎日勉強の日々です。当保育  
所の保育理念「手をつなごう」  
のもと、これからは保護者の  
皆様と力を合わせて子育て  
の喜びを共有できる保育を  
目指していきたいと思いま  
す。そして子どもたちと一緒  
にたくさんの思い出を作っ  
ていきたいと思います。

＊あいずめ保育園＊



三橋 明美

何時、何  
処で、ど  
んな「縁」と  
出会うかわ  
からないも  
のです。今

までにもいろんなご縁が沢  
山ありましたが、まさか福祉の  
現場で仕事をやる機会を与え  
られるとは思ってもみません  
でした。

昨年の四月民営化された保  
育園に副園長兼事務長として  
就任させていただきましたが、  
八月に突然前園長が退職  
され、その後を受けて園長に  
就任いたしました。

驚きのなか、未経験の保育  
に戸惑いながらも、子ども達  
の笑顔に助けられ、職員の頑  
張る姿に勇気づけられる日々  
ですが、この「縁」に感謝も  
しております。

県社協での経験を生かし、  
地域との連携を図りながら、  
保護者の声に少しでも多く耳  
を傾け「地域に根ざした子育  
て家庭に優しい保育園」を目  
ざして努力していきたいと思  
っておりますので、ご指導  
くださいますようお願いいた  
します。



全国私立保育園研究大会 宮崎大会

益井 美保

今回参加させていただいた  
分科会では、「異年齢児保育  
の意義と課題」というテーマ  
で、平成二十一年から沖浜  
シーズ保育園が取り組んでき  
た異年齢児保育について、い  
くつかの事例を取り上げて発  
表しました。

私たちは、子どもの「主体  
性」を育むひとつとして小さ  
な異年齢児のチームを作り、  
その中で子ども自身もリリー  
ダーとして葛藤したり、小さ  
い子はリーダーや副リーダー  
を見て学ぶことで同年齢の集  
団では得られない心の育ちが  
あると思っています。

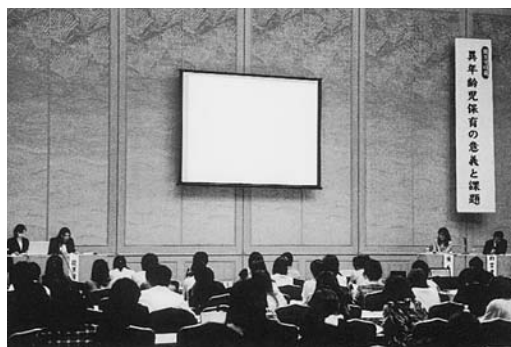
発表後、フロアからは、「保  
育者間の話し合いはどう進め



ているのか?」「こういうや  
りかたもあるんだと参考に  
なった」という意見をいた  
きました。全国大会というこ  
ともあり、いろいろな都道府  
県の方とグループ討議した  
り、助言者の飯田先生の講話  
を伺う中で、あらためて保育  
の奥深さややりがいを見直  
することができました。

今大会の発表を踏まえ、こ  
れからも沖浜シーズ保育園ら  
しく異年齢児保育に取り組ん  
でいこうと思っております。

(沖浜シーズ保育園)



**活躍!**  
**主任保育士さん**  
 坂東 真澄



からだの隅々までつかって“かめ”のポーズ

私が幼かったおおよそ半世紀前、保育士になったばかりの頃、そして今、年月の移り変わりとともに様々なことが大きく変わってきました。若いお母さんたちには、何の疑問もなく当たり前前便利になった生活。大げさかもしれませんが、劣悪とも言えるようなことも多くなっているのでは…。そんな今、子どもたち

食なく食べています。なぜ玄米なのか、和食なのか、危険な食が増えている現実への気づきなど、身近な様々な食育活動を通して子どもに学んでいます。手づかみで満足そうに食べる乳児たち、「皮に栄養があるよな。よー噛んだら甘いなる。」「保育園のきゅうりおいしい！」など食べながらの楽しいおしゃべり、うれしい育ちがたくさんです。

は、たくましく自分らしく生きていく土台をつくる大切な幼少期の大半を保育園で過ごしていることを全職員で話し合い、何が大切なのか、私たち大人はどうあるべきかを考えてきました。玄米を主食に、調味料にもこだわった野菜たっぷりのからだにやさしい和食が殆んど園給食。子どもたちは大好きで、ほぼ毎日残



「バッタいたよー。」「見せて見せて！」

朝一番ロールマットでマッサージ、身体ほぐしで一日のはじまり。赤ちゃん体操の心地良さを感じることはらじまって、リズムへ。身体を動かすと気持ちいい、楽しい、もつとやってみたい、できたー！：そんな心と身体の育ちは様々な遊びや生活を存分に楽しむ源になっています。『飛び出した脳』ともいわれる手や足をしっかりと使い園外散歩。本物にいっぱい触れる経験も大切にしています。保育士として勤めて三十五年、ベテランだから…と何かの折には言われますが、元気だけがとりえ。一日が、

一ヶ月が、一年が、本当に早くて早くて、保育士としての自分を振り返る間もなく過ぎてしまいました。近くにできた保育所に見学に行き、『保母さんになりたい』と夢を大きく持ったのは四十三年前。夢叶い保母となり、すぐに結婚、出産、子育て：仕事との両立大変？とよく聞かれましたが、私は本



上手につまんであ〜ん。れんこんチップスおいしいね。

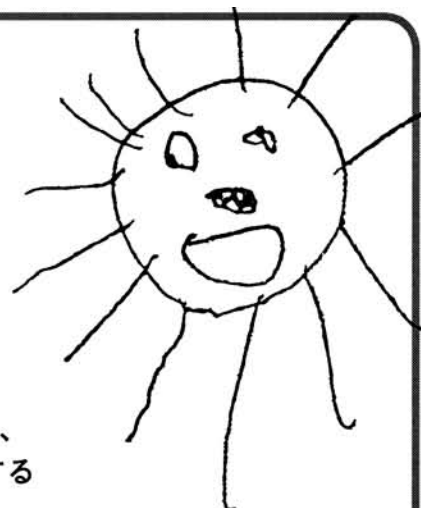
当に恵まれていました。かわいいたくさんの子どもたちやたくさんの子供も大人たちに支えられ、助けられ、たぶん笑顔いっぱい三十五年間だったと思います。保育士という職についていられるのもう少し。子どもと一緒に感動したり驚いたりする日々でありたいと思います。(しらゆり保育園)



夏はやっぱりこれだね！泥んこあそび



# 保育園および園児を さまざまなリスクから サポートします



保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
各種保険を取り扱っております。

## 全私保連 保険制度

「保育園賠償責任保険」「保育園児団体傷害保険」  
「特別保育事業賠償責任保険」など、  
保育園経営に必要な不可欠な保険をラインナップ  
しています。また、それらを総合的に補償する  
セットプランもご用意しております。

## 園児総合保障 共済制度

保育園児を24時間補償する共済制度です。  
保育者にとっては  
一般に比べて割安な掛金で  
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。  
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社代理店

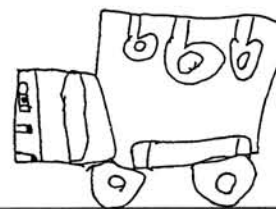
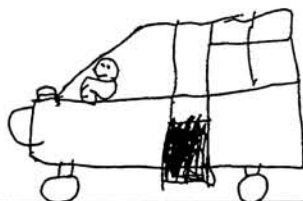
### 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

#### 〈引受保険会社〉

(幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 公務第一課  
TEL：03-3515-4133  
(共同引受保険会社) 三井住友海上火災保険株式会社

このご案内は全私保連保険制度・園児総合保障共済制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



笑顔はじける  
「おぎゃっと21」

高岡 康子

五月三日の初日におぎゃつと劇場『オオカミと三匹のこぶた』を午前・午後の二回、ステージでさせていただきました。みんなのよく知っていた『三匹のこぶた』ですが、今回は、オオカミがちよつと主役の『オオカミと三匹のこぶた』にしました。

オオカミやおぶたのコミカルな動きや踊りは、大きなステージを十分使い、大きな動作で演じるよう練習し、みんなに楽しんでもらえるよう準備を進めてきました。保育士自身が、とても楽しく練習することができました。

おぎゃつと21は、たくさんの方が盛りだくさんです。しかし、劇が始まるとステージの前に集まってくれたり、こちらに注目してくれたり、子どもたちは興味を示し、楽しんでくれたように思います。出演している保育士たちも力が入り、充実した時間を過ごすことができました。

出産や育児に夢を持てる社



会づくりを目指して、県内の協力団体が力を合わせて開催しているこの子育て支援イベントは、子育て中の方、そして子どもたちにとっても楽しいイベントだと思います。会場には、みんなの笑顔があふれ、幸せな雰囲気につつまれていました。  
(うずしお保育園)



おぎゃつと劇場

オオカミと  
三匹のこぶた



子育て真っ最中！  
ママ職員  
松下 典子



出産、育児。それは、私にとって待ち焦がれていた出来事です。保育士という、大切な子ども達と関われる幸せな職業で、自分達夫婦にも、子どもを授かることを、自然と願うようになりました。

しかし、いざ子どもを授かったとなった時には、嬉しさの中にも少しの不安が潜んでいました。自分達で、しっかりと立派に子どもを育てることが出来るのか。子どもが、困っていることを助けてあげられるのか。

無事希望する素敵な保育園に入園することが出来、さあ、これから我が子も、沢山保育園で遊んで大きくなっていくんだなあ。休日は、愛情を込めて家族でも沢山遊ぼう。そう心に決めたのですが、次々に新たな風邪を引く我が子。忙しく動く生活は、小さな身体に沢山の負担をかけてしまっていたのでしよう。風邪は拗らせていくばかりで、仕事復帰二週間後には、入院となりました。

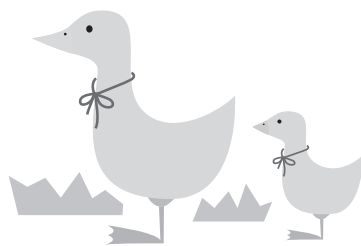


従兄と一緒に

発熱や嘔吐をしており、自分が仕事を休ませて頂くしかできませんでした。仕事復帰して数日しか、経っていないのに。しかし、園長先生は毎日我が子のことを、妻と親身になって心配してくださり、職場の同僚は、大丈夫だからとフォローのオンパレード。

夫も、料理に洗濯と沢山手伝ってくれました。そして、我が子は左手に点滴をつけ、包帯で腕がぐるぐると巻かれているにも関わらず、動ける範囲の限られているベッドの上で沢山の笑顔と笑い声を聞かせてくれました。その事にどれだけ助けられたことでしょうか。

「子育てをする。」それは私だけ、夫婦だけでは到底行えるものではないということをも、深く実感しました。甘えるばかりではいけないけれども、頼りになる存在、心から支えてくれる存在は沢山。立派に子どもを育てようと、意気込むのではなく、色々な方々に教えて頂き、我が子が困った時には力を貸して頂き、これからは我が子と一緒に私たちが夫婦も育っていききたいです。そして、未熟ながら、同じ子を持つ母親として、保護者



の方に寄り添い、安心して大切なお子様を預けて頂けるように、心を込めて子ども達と関わっていききたいです。  
(なかよし保育園)

Gakken 学研

(株)学研エリアマーケット 徳島営業所

☎779-3122 徳島市国府町府中629-1

Tel : 088-643-0760

Fax : 088-643-0762



ワンダーブックの保育用品

世界文化社販売株式会社

〒770-0802

徳島市吉野本町3丁目16番地2

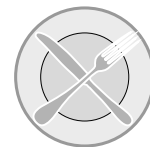
TEL(088)653-7607

FAX(088)653-7874



「いただきます」を支えて...

中村真理子



小さな頃から食育すること、料理することに興味があり、そして何よりも子どもが大好きな私は、縁あって生まれ育った地元の鴨島ひかり乳幼児保育園に平成十三年十一月から勤めています。初めの頃は、やる気ばかりが優先し、失敗をたくさんしましたが、そのたびに的確なアドバイスを下さる先輩方や温かく接してくれた皆さんのおかげ

で頑張ってくることができました。

「初心忘れるべからず」十一年経った今でもその言葉を胸に常々引き締め、安心・安全で美味しい給食を提供するように心がけています。

ひかり保育園の調理室は家庭の台所のような小さなスペースですが、そこからカウンター越しに毎日子どもたちとあいさつを交わしたり、食べ物についてやり取りをしたり、匂いを届けたり、家庭で祖母さんが料理をしているような温かい雰囲気漂っている調理室です。



当園は離乳食の第一歩を保育園から始める子どもが多いため、一人ひとりの離乳段階を保育士・栄養士・調理員が連携をとりながら共通理解をはかることを大切にしています。

また、家庭との連



携も密にしています。送迎時サンプル展示を見ながら親子の会話が弾んで聞こえてきます。また、食事について気になることがあればその都度話をしたり、忙しい方には手紙でのやりとりをしています。

時代の流れと共に人間関係もどんどん稀薄になっていきますが、子どもたちや保護者の方に気軽に声をかけてもらえるような存在でいたいと思っています。

小さな頃から共に味わい、「みんなと食べるとおいしいな！」と子どもたちが感じる事ができるように日々の食事や食環境づくりに心がけ、これからの子どもたちの「いただきます」を手助けしていきたいです。

(鴨島ひかり乳幼児保育園)

男性保育士！じゅずつなぎ

下内 寛

私が、最初に保育士を目指そうと思ったきっかけは、小学校の頃でした。近所の友だちに年の離れた妹がおり、その子の可愛い表情やしぐさを見て「小さな子どもたちに囲まれる仕事が出来たら楽しいだろうなあ」と思った事が全ての始まりだったと思います。成長するにつれて、一度はこの思いを忘れてしまった事もありましたが、子ども好きであることは変わらず、「やっぱり子どもと関わる仕事がいい。幼児期の子どもの成長に深く関わりたい。」と思えました。そのためには、知識や技術を習得しなければいけないと考え、保育士への本格的な道のりが始まりました。



実際に保育士になって数ヶ月、失敗も多く先輩の保育士にご迷惑をかけてしまう事がとても申し訳なく思う事ばかりですが、子どもの変化や成長を間近に見ることが出来るのはとても嬉しく思います。見守る保育で子どもたちの様子を見たり、子どもの力が発揮できるように援助することで、登園してから遊びにいくまでの間はずっと泣いていた子が、ある日から笑顔で遊びに向かうようになった、給食を自分から食べようとしないう子が自分で食器を持ち食べるようになった、等保育士の関わりで成長していくのを見ると、より頑張ろうという気持ちにさせてくれます。驚きと感動をいつも与えてくれる子どもたちと一緒にいるためにも、自分自身の保育をしっかりとして確立させ、向上心を持ち続けて臨みたいと思います。

(さくら保育園・石井町)

(一面から続く)

### 七夕まつりを

### 終えて

吉田美知代

今年の梅雨明けの早さは、拍車をかけたかの如く猛暑となりましたが、この猛暑の中にも日本には四季豊かな伝統行事があります。

当園では、夏の風物詩である七月七日の七夕まつりを子ども達の伝統文化として取り入れています。夜空のキラキラ星の美しさ、天の川を隔てた彦星と織姫星が一年に一度会えるロマンチックな物語を、

絵本や紙芝居で伝えるとともに、家庭に持ち帰り親子で一緒に書いた五色の短冊、この行事も含め豊かな心情が育つようにと職員の願いがこもった七夕飾りを笹竹に吊るしま



お空にとどけお星さま〜♪ 2歳児



笹の葉サラサラきれいね 1歳児

した。また、音楽環境の中では、美しく輝くメルヘンの世界へと、スワンのつばさ、キラキラ星のやさしいメロディーを歌い、不思議さに親しみ真剣で穏やかな子どもたちでした。

給食は、インパクトのある七夕寿司でした。星型お寿司の上に小さい卵の星を並べ、すまし汁にはそうめん দিয়ে মৌজিした天の川、オクラの星、豆腐も星で「うわーっ」

「ほしになったら」と歓声があがり、食前の賑やかさは喜びいっぱいでした。おやつのお金平糖ではピンク、みどりを見つけ、覚えた彦星、織姫星を話し合いニコニコ顔が充満し七夕まつりのお祝いが子どもたちの心に深く残った様子で、保育園全体で楽しみ喜びの大きな七夕まつりになりました。

した。

親子で一緒に書いた短冊には、なかなか難しい願い事が集まりました。「プリキュアになりたい」「キョウリユウジャーのおもちゃがほしい」「おもちゃ王国にいききたい」などでした。また両親の願いは「早寝早起きができますように」「早く自立をしてパンツになりますように」「好き嫌いなく何でも食べれますように」と子ども達の成長を祈り愛する我が子への親心が見られました。少し子育て支援に繋がったかなと思っています。

最近では家庭に季節感も乏しくなり、子ども文化が消えそうです。就学前の子どもたちに美しいもの、純粋なもの、崇高なものを見たり聞いたりして感動を伝え、豊かな情操の育ちに子ども文化は欠かせない材料と考えています。

この文化は豊かな情操保育として大切にしたいものです。正興寺保育園は昭和二十九年二月に、県職員から「素晴らしい環境は子育てに適している」と勧められ開設したと聞いています。少し高台に位置し裏山のみどりと本堂の仏様に見守られ、子どもの情操保育には最適環境をしっかりと受け止め、子どもの発達保障の側に立ち日々を過ごして行こうと思っています。



上手につくれるかな 3歳児



スワンの翼をわたってね 3歳児



どのお星さまにする？ 4歳児

(正興寺保育園)

### 編集後記

園舎が見えてくると「先生、おはようございます」と子ども達の元気な声が聞こえてきます。「おはようございます」と応える言葉に保育園に勤められる喜びを感じています。「三つ子の魂百まで続く」という諺があります。小さいうちに基本的な生活習慣を身につけさせることは大切です。そこで私は、みんなでおう三つの言葉「おはようございます、ごめんさい、ありがとう」を合い言葉に基本的な生活習慣の育成を図り社会性と思いやりの心を培っています。この言葉を園歌の中に取り入れ、みんなが歌を通して確認しています。

さて、このようにかわいい子ども達をどのように受け入れていくか。待機児童解消が大きくクローズアップされるなか、実現にまでこぎ着けた横浜方式が取りざたされています。本県でも可能なのか。また、体制としてこのまま保育園として残るのか。厚生労働省が進める「幼保連携型認定こども園」に移行するのがよいのか。保育園は大きな岐路にさしかかっています。

今回の広報紙作成には多くの方からご寄稿をいただきました。新園長先生の抱負、主任保育士さんのいろいろな企画、男性保育士さんの苦勞、おいしい給食を目指す栄養士さんの努力等により内容の濃い広報紙ができましたこと厚くお礼申し上げます。

(土井谷)